

AAALA ニュース 第 159 号

内容紹介

01 ブラジルと中国がウクライナ和平の共同提案

ウクライナ戦争の拡大と核兵器使用の危険を防ぐため、全当事者が参加する和平交渉を共同提案した（5月23日）。日本のマスコミではほとんど伝えられなかったが、ニカラグアなどグローバルサウスから支持表明が相次いでいる。

02 B・ノートン「中国・ロシア共同声明を読み解く」

5月中旬に中国を訪問したプーチン大統領が習近平主席との会談で合意して発表した共同声明。地政学的意味合いを有力な政治アナリストが解説している。

03 S・プラボウォ「緊張と紛争にグローバルサウスは幻滅」

今秋に就任するインドネシアの次期大統領（現国防相）がシンガポールでの安保対話会議で演説。グローバルサウスの立場からガザ戦争やウクライナ戦争を批判、対話と協力以外に世界の平和はありえないと訴えた。

04 ディアスカネル「キューバはけっして手をこまねいてこなかった」

欧州やラ米で反響を呼んだI・ラモネのキューバ大統領への長時間インタビュー。米による経済封鎖の影響と困難に立ち向かいながらの社会建設の実情と展望が誠実に語られ、胸をうつ。（後藤政子訳）

その他の記事は「鈴木頌 AALA ニュース編集日記」で参照できます

（[aala_news](https://livedoor.jp/aala_news) の編集日記 (livedoor.jp)